

# 令和3年度 徳島県立図書館協議会

日 時： 令和4年1月18日（火）  
午後1時30分から

場 所： 徳島県立図書館 集会室1

## 1 開 会

## 2 館長挨拶

## 3 会長挨拶

## 4 委員紹介・職員紹介

## 5 議 事

（1）令和2年度事業実績について

（2）令和3年度事業について

（3）「徳島県立図書館サービス向上目標（第4期）」の推進状況について

（4）その他

## 6 閉 会

# 徳島県立図書館協議会委員名簿

令和4年1月18日現在

氏名	職名
おもて 表 ひじり 聖 司	NHK徳島放送局長
こんどう はるな 近 藤 春 菜	四国大学文学部 学生
すぎやま えつこ 杉 山 悦 子	四国大学文学部 准教授
すずき あやこ 鈴 木 綾 子	徳島ペンクラブ 副会長・事務局長
なか ようこ 中 洋 子	徳島県読書振興協議会 会長
はしむら ももえ 橋 村 百 恵	徳島県公立図書館協議会 理事(美波町日和佐図書・資料館長)
ひらい しょうご 平 井 松 午	阿波学会 会長(徳島大学名誉教授)
みのう つぶら 美 濃 円	徳島県高等学校PTA連合会 副会長
よごう ゆうじ 余 郷 裕 次	鳴門教育大学大学院 学校教育研究科 教授
よこやま たけふみ 横 山 武 文	徳島県学校図書館協議会 副会長(北井上小学校長)

※ 五十音順、敬称略

# 座 席 表

— 入 口 —

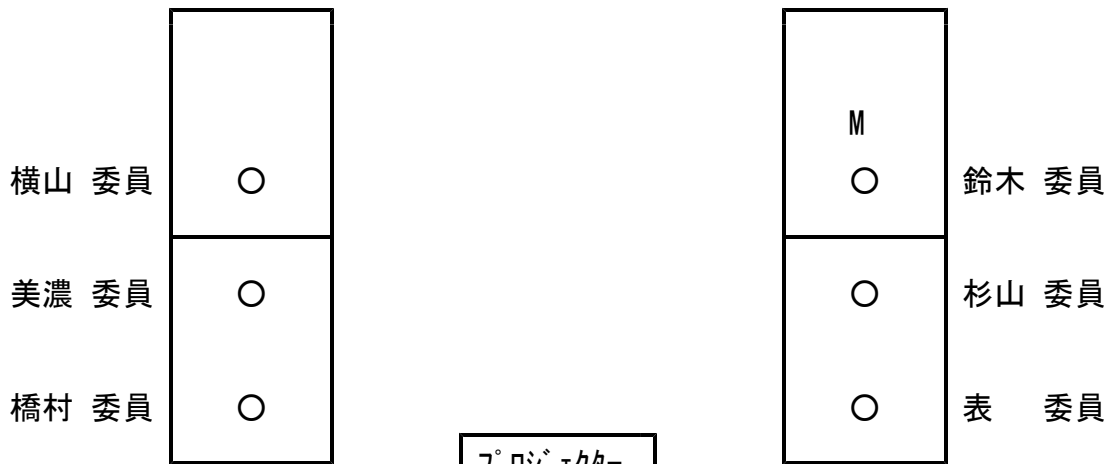
傍聴席

資料・児童担当 係長  星	資料・児童担当 主査兼係長  高橋	調査・郷土担当 係長  林	二十一世紀館 主任  木村	調査・郷土担当 課長補佐  立石	企画振興担当 係長  松原	企画振興担当 係長  小松
------------------------	----------------------------	------------------------	------------------------	---------------------------	------------------------	------------------------

資料・児童 課長補佐 (リター-) 中火	調査・郷土 課長補佐 (リター-) 田村	文化の森振興センター 副所長 東條	館長 藤川	企画振興 係長 (リター-) 稲垣	副館長 三月田
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------	----------	----------------------------	------------

M

M



プロジェクター

中副会長	有線M 平井会長
------	-------------

有線M

パソコン

スクリーン

## 令和3年度 徳島県立図書館協議会資料

### 資料1

令和3年度 徳島県立図書館年報  
(令和2年度事業実績)

### 資料2-1

令和3年度 行事記録

### 資料2-2

調査・郷土担当関係

### 資料2-3

資料・児童担当関係

### 資料3

県立図書館サービス向上目標(第4期)の推進状況

## (2) 令和3年度事業実施状況について

資料2-1

### 令和3年度行事記録

〇おもな集会行事

令和3年11月末現在

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
5月19日	阿波学会理事会 (オンライン)	阿波学会理事 事務局員	令和2年度決算、令和3 年度計画について	12
5月19日	阿波学会評議員会 (オンライン)	阿波学会評議員 事務局員	令和2年度決算、令和3 年度計画について	19
6月3日	第1回 徳島県図書館職員研修会	講師： 嶋田 学 氏  朝日 康元 (徳島県立図書館)	講義：(リモート) 「これからの地方に求め られる公共図書館」 講義：「所蔵検索講座」	51
6月6日	初めての方のための読み聞かせ 講座	講師： 渡邊 美恵 氏	絵本の読み聞かせについ ての講義とワークショップ	16
6月18日	徳島県読書振興協議会正副会 長会	正副会長	令和2年度読書振興大 会、理事会・総会につい て	7
6月18日	令和3・4年度 阿波学会総合学術調査(小松島 市)レギュレーション	調査役員・班長 小松島市担当 事務局員	調査班調査テーマ・内容 の確認、地元との協議、 調査班員、日程について	20
7月8日	第2回 徳島県図書館職員研修会	講師： 谷嶋 正彦 氏  前田 由美子 氏 西條 美鈴 氏 三井 貴浩 氏	講義：(リモート) 「公共図書館と学校(図 書館)の連携」 講義： 「徳島県における読書バ リアフリー推進につい て」	46
7月10日	徳島県立図書館来館者 1,500 万人達成記念セレモニー	イベント広報委員 会	セレモニー出席者 藤野はなさん(4歳) 藤野広志さん(37歳) 飯泉嘉門 徳島県知事 徳島県立図書館長	179
7月13日	阿波学会編集委員会	阿波学会編集委 員	「阿波学会紀要64号」に ついて	10
7月24日	読書感想文にチャレンジ 2021	児童担当	「講義」「選書」「ワーク シート記入」の3段階に わけてナビ	25
7月31日	令和3・4年度 阿波学会総合学術調査(調査 地・小松島市)結団式	役員 小松島市関係者 各班調査員	各班から総合学術調査内 容の説明	28
7月31日 ～8月13 日	令和3年度阿波学会学術調査	各班調査員	小松島市内学術調査	20
8月7日	「夏休み子ども環境学」講座	危機管理環境部グ リーン社会推進課 職員等3名	「エコみらいとくしま」 より講師を招き地球温暖 化についての講座を開催	13

9月2日	徳島県公共図書館協議会 第1回研究・研修委員会	研究・研修委員	令和3年度図書館大会及 び研究テーマについて	6
9月8日	徳島県読書振興協議会優良読書 グループ選考会	会長・副会長	全国及び徳島県の優良読 書グループ推薦団体を選 考	9
9月14日	図書館職員相互訪問研修	徳島大学附属図 書館・鳴門教育 大学附属図書館 ・県立図書館職 員	事例発表： 「新たな環境下での電子書 籍とデジタルアーカイブ」	15
10月2日 ～10月29 日	令和3年度阿波学会学術調査	各班調査員	小松島市内学術調査	13
10月14日	第3回 徳島県図書館職員研修会	講師： 大谷 康晴 氏  水上 英俊 (徳島県立図書館)	講義：(リモート) 「図書館における人材育 成、職員の自己研鑽」 講義： 「とくしま電子図書館の 紹介」 情報交換会	38
10月24日	おはなし会スタッフミーティン グ	おはなし会ボラン ティア	令和3年度おはなし会実施 状況について ほか	14
11月3日	あきのおはなし会	県立図書館おはな し会ボランティア スタッフ	大型絵本、紙芝居、手遊 び、など	13
11月19日	協力業務実務担当者会	市町村図書館職員 ほか	とくしまネットワーク図 書館及び県下の公共図書 館の協力業務・相互貸借 について	22
11月23日	えいごのおはなし会	鈴江 晶子 氏	大型絵本・絵本の読み聞 かせ、手遊び(うた)	31
11月27日	徳島県読書振興大会 (佐那河内村大会)	講師： 矢野 富夫氏	大会テーマ 「人から人へ、未来につな がる読書活動」	42

- おはなし会 毎月2回／赤ちゃんと楽しむおはなし会 月1回  
奇数月は「赤ちゃんと楽しむおはなし会&助産師さんとはなそう！」
- まなびの森講演会（放送大学徳島学習センターと共催） 8月～10月は中止  
4/24, 5/29/, 6/26, 7/31, /11/20, 12/25（ 1/22, 2/19, 3/19 予定 ）
- レコード鑑賞会 まなびの森講演会開催日に実施  
4/24, 5/29/, 6/26, 7/31, /11/20, 12/25（ 1/22, 2/19, 3/19 予定 ）

## 令和2・3年度 展示事業

### ○企画展

場所：1階 展示ギャラリーほか

会 期	展 示 名
2021年 2月5日(金) ～4月25日(日)	「ドイツの子どもの本」 <span style="float: right;">〈担当：児童〉</span>
4月27日(火) ～6月6日(日)	「トーベ・ヤンソンの世界」 <span style="float: right;">〈担当：資料・児童〉</span>
6月8日(火) ～8月1日(日)	「東京オリンピックの本」 <span style="float: right;">〈担当：資料〉</span>
8月3日(火) ～10月3日(日)	「図書委員が選ぶ、思い出の一冊」 徳島県学校図書館協議会高校部会との共同展示 <span style="float: right;">〈担当：企画振興〉</span>
10月5日(火) ～11月21日(日)	「徳島が生んだ写真家 カメラが写した徳島」 <span style="float: right;">〈担当：郷土〉</span>
11月23日(火) ～2022年 1月23日(日)	「じ・て・ん～字典・辞典・事典」 <span style="float: right;">〈担当：調査〉</span>
2022年 2月4日(金) ～4月10日(日)	「水木しげると妖怪」 <span style="float: right;">〈担当：児童〉</span>

## 展示のようす



ドイツの子どもの本



トーベ・ヤンソンの世界



東京オリンピックの本



図書委員が選ぶ、思い出の一冊



徳島が生んだ写真家 カメラが写した徳島



じ・て・ん～字典・辞典・事典



# 令和3年度 ミニ展示

令和3年11月末現在

## ミニ展示コーナー（検索コーナー横）

期間	テーマ
3/23～4/18	新年度を「新書」で！
4/20～5/30	植物を育ててみよう
6/1～7/4	オリンピックの本
7/6～8/1	徳島県男女協調週間（ときわプラザ紹介）
8/3～8/29	向田邦子没後40年
8/31～10/3	自然災害に備えよう！
10/5～10/31	さまざまな写真集
11/2～11/28	ストップ！糖尿病
11/30～12/26	臓器移植普及啓発

## しごと応援コーナー

期間	テーマ
3/19～5/19	かしこいお金との付き合い方
5/21～6/15	テレワーク
6/18～8/18	面接解禁！
8/20～10/20	転職の秋
10/22～1/23	起業・独立に向けて

## 郷土資料コーナー

期間	テーマ
3/16～4/28	活躍する徳島県人-2020年の出版物より-
5/7～6/27	自然を感じて-徳島の花編-
6/29～8/1	徳島とオリンピック
8/3～8/29	博物館 リニューアル！
8/17～9/20	森文庫ご紹介 プラス「みんなで翻刻」紹介
8/31～10/3	災害の記録から学ぶ
10/5～11/21	徳島が生んだ写真家 カメラが写した徳島
11/23～12/28	デュアル・モード・ビークルと県南の魅力

## ブラウジングコーナー

期間	テーマ
4/6～4/25	追悼・橋田寿賀子
5/7～6/20	近代美術館のクラウドファンディング
6/24～7/13	追悼・立花隆
7/1～7/31	藍推進月間
8/3～8/29	マナーアップ
8/3～8/31	博物館リニューアル記念
10/19～10/24	追悼・山本文緒
10/26～11/21	秋の夜長にジャズはいかが？

## ブックトラックによるミニ展示

期間	テーマ
3/22～4/25	お弁当
4/28～5/30	自宅で学ぶ・楽しむ・鍛える
6/2～8/1	備えあれば・・・豪雨・水害・避難
8/3～8/31	日本各地の博物館
9/3～10/31	おいしい秋見～つけた
11/4～12/28	年末に向けて～大掃除・おせち～

## こどもの本コーナー

○児童・毎月の企画展示	
期間	テーマ
4月	ぞうの本
5月	旅の本
6月	おまわりさんの日
7月	虹の本
8月	ぼうけんの本
9月	バスの本
10月	海外旅行の日
11月	友だちの本
○児童・ミニ展示	
期間	テーマ
3/1～4/18	はるの本
4/27～6/6	トーベヤンソンの世界
4/13～5/16	子どもたちの読書のために
5/13～6/20	お母さん・お父さん
5/27～7/20	追悼 エリックカール
6/6～7/4	ここ半年で出版された絵本
6/22～7/7	たなばた
7/8～9/5	オリンピックの本
7/21～8/30	自由研究・読書感想文
7/23～9/30	那須正幹氏追悼
8/3～8/29	戦争&平和
8/7～8/15	地球温暖化
8/3～8/31	恐竜
8/31～9/30	防災
10/1～10/31	ハロウィンの本
11/2～11/28	しごとの本
11/30～12/26	クリスマスの本

## 1. 電子書籍について

## (1) 利用統計

	タイトル数 (累計)	閲覧件数
平成30年度	483	1,344
令和元年度	954	2,918
令和2年度	1,959	9,358
令和3年4月	2,039	720
5月	2,121	966
6月	2,172	938
7月	2,173	858
8月	2,211	1,115
9月	2,294	692
10月	—	823
11月	2,348	1,151
		(計) 7,263

平成30年4月から開始した電子書籍閲覧サービスは、令和3年度で4年目に入った。閲覧件数は順調に伸びており、コロナ禍の中、非来館型サービスが注目され平成30年度から令和2年度までの2年間で約7倍の閲覧件数となっている。令和3年度においても11月末で既に、7,263件となっており、サービスが浸透しつつあることがうかがえる。

全国的な公共図書館における電子書籍導入状況について、都道府県立図書館の導入館は9館で、令和3年4月から10月末までの間に新たに53館が導入しており増加傾向にある。コロナ禍の予断を許さない状況の中、電子書籍は特別なサービスではなく、時間や場所を選ばない非来館型サービスとして当たり前のサービスへと移行しつつある。

## (2) サービス対象者

電子書籍閲覧サービスの利用対象は、Myライブラリサービスの登録者、市町村図書館等利用者の資料取寄せ依頼サービスの登録者、県立学校等の児童・生徒及び教員となっている。

## (3) GIGAスクール構想における電子書籍利用

令和2年7月に、教育委員会学校教育課から電子書籍閲覧サービス利用のための協力要請があり、「県立学校・電子図書館」事業に協力している。コロナ禍時代に懸念される児童生徒の「学習の遅れや「学びに対する意欲の低下」にICTを活用した学習支援体制として県立学校等の児童・生徒及び教員2万人に電子書籍閲覧のためのID・パスワードを発行し、電子書籍を利用してもらっているところである。

令和3年4月には、県立図書館のホームページに学校向けのトップページを開設し、生徒向け(小説・エッセイ等)(学習等)、就職関連資料、資格試験関連資料など生徒向けコンテンツの紹介バナー

を設置するなど、利便性の向上を図った。また、学校教育課が開設したウェブサイト「あわっ子歴史・文化オンラインめぐり」にリンクを張り、小学校高学年から中学生がインターネット予約や電子書籍閲覧をやすくした。令和2年度の文部科学省の「電子図書館及び電子書籍を活用した子供読書活動推進に関する意識調査」では、電子書籍の体験会などの公共図書館の取り組み事例があり、当館においても学校教育課と連携を深め、電子書籍の利活用促進に努めたいと考える。

#### (4) 評価

時間や場所を選ばない非来館型サービスとして、読書のスタイルの選択肢が広がったことで、中高生の若い世代、遠隔地の新たな利用者層の拡大につながった。7月～9月に、5分間全文試し読みサービスを実施し幅広い分野とテーマについて興味関心を持ってもらう機会となった。

また、学校向けのトップページの開設や資格試験関連資料や就職関連資料など生徒向けのコンテンツを購入し、GIGAスクール時代の電子書籍閲覧サービスをより充実させた。更に、読書バリアフリー法の成立により「読み上げ機能付きの電子書籍」を購入し、読書バリアフリー環境の整備に努めており、継続的にコンテンツの充実を図ることとしている。

#### 【学校向けのトップページ】

#### (5) 今後の計画

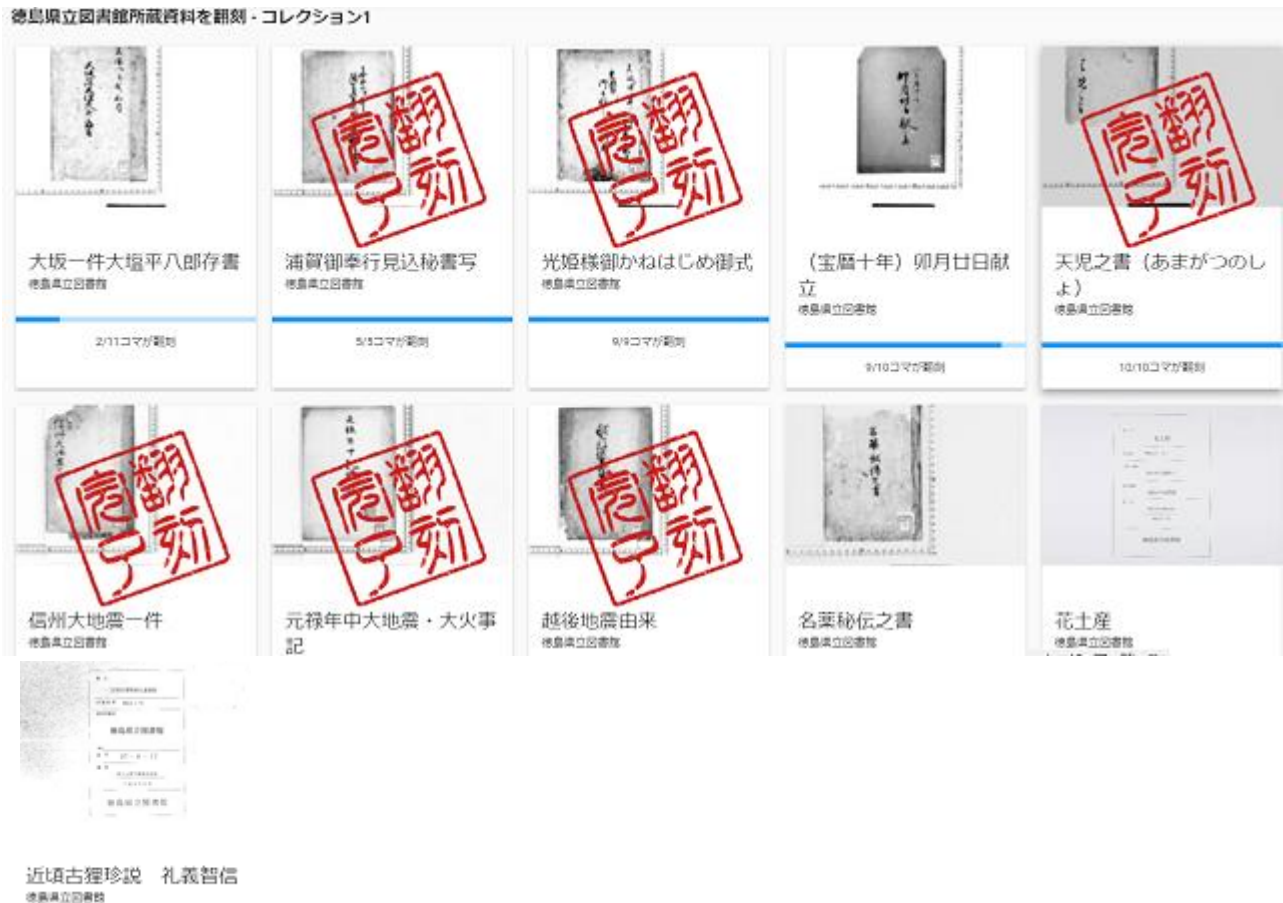
- ・収集方針に基づいてコンテンツの充実をはかる。
    - ①事典・図鑑類
    - ②各年代のライフステージに沿った課題（仕事，健康，子育て，地域振興，災害など）を解決するために役立つ書籍
    - ③GIGA構想と連携した「県立学校・電子図書館」事業における若い世代向けの書籍
  - ・全文検索機能を生かした，調査研究や身近な調べものの普及。
  - ・非来館や読み上げ機能対応を利用した障がい者サービスの充実。
- (※今後のKinoDenの改修で音声読み上げ機能がアプリでも対応可能となる予定。)
- ・図書館システム更改に合わせ，電子書籍と紙資料の一元管理（統合検索）を実現。
  - ・インターネット利用者や各種関係機関への広報の強化を図る。

## 2. デジタルアーカイブについて

令和2年5月に文化の森「とくしまデジタルアーカイブ」として文化の森各館が所蔵する貴重な資料をホームページで公開した。現在、図書館からは絵図・地図、阿波国文庫、『阿波名所図会』などのデジタル化済み郷土関係古書等256点、および絵葉書255点を掲載している。

令和3年3月に、\*「市民参加型くずし字翻刻プロジェクト“みんなで翻刻”」の活動を紹介し体験する講座「“みんなで翻刻”－A Iと仲間で読んでつなげる歴史資料」を開催した。

令和3年7月にこの講座からの発展形で\*「みんなで翻刻」に「徳島県立図書館のプロジェクト」として開設し、オンラインで「みんなで翻刻」の登録者に当館所蔵の和古書、古記録等を翻刻してもらうことになった。当館所蔵資料から11点を選び、翻刻作業が進められている。現在翻刻が完了しているのは、11点のうち6点となっている。オンラインから市民参加で翻刻し、文字を起こすことで地域の文化情報資源をわかりやすい形で全国に発信し、資料の二次利用機会拡大を目指している。



\*「みんなで翻刻」は多数の人々が協力して歴史資料の翻刻に参加することで資料の解読を一挙に進めようとする事業。この事業は、2017年に京都大学古地震研究会のメンバーによって地震史料（東京大学地震研究所の資料）を翻刻することから始まった。現在は国立歴史民俗博物館、東京大学地震研究所、京都大学古地震研究会を中心に進められている。翻刻にはA I活用のくずし字認識アプリを利用する。該当のくずし字を囲むとA Iが推定した候補の文字が現れ、文脈から参加者が選択する。初学者が翻刻したあと専門家による添削が行われ、翻刻の正確性は98.5%となっている。現在、福井県公文書館・福井県立図書館をはじめ様々な機関の所蔵資料を翻刻対象としている。

## 資料・児童担当関係

## 1. コロナ禍における開館状況

## (1) 休館

期間： 令和3年4月29日(木)～5月5日(水)

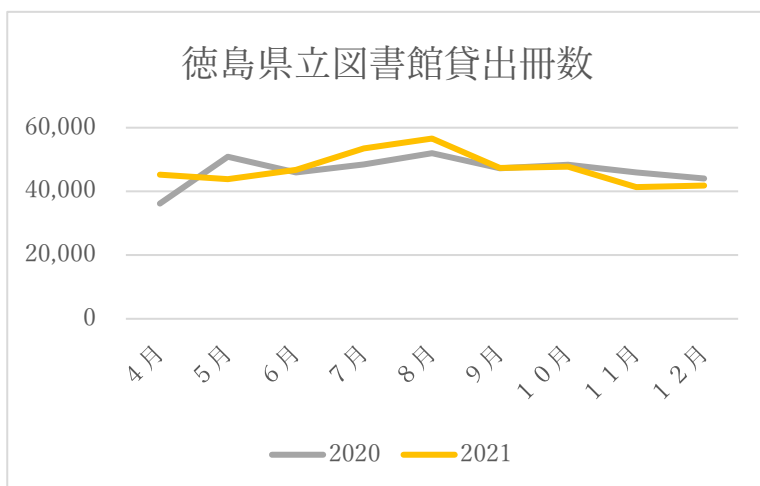
サービス内容： 電話とインターネットによる予約受付，メール・電話等によるレファレンス，電話による「Myライブラリサービス」の仮パスワード発行

## (2) 通常開館 令和3年5月7日(金)～

※5月6日(木)は定期休館日

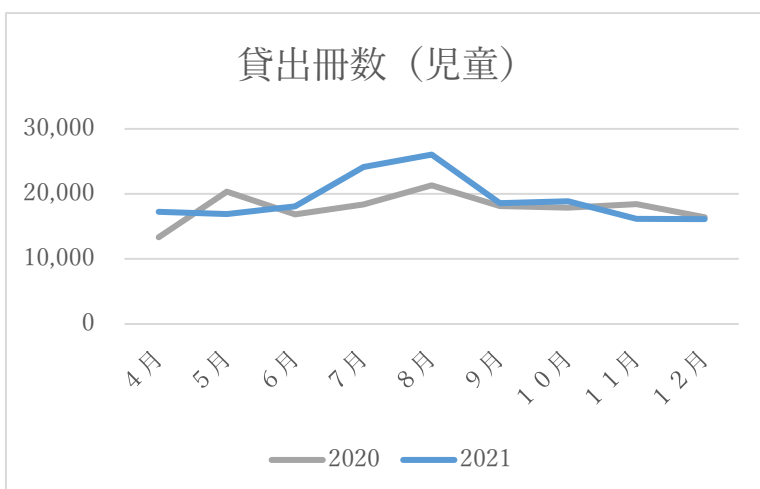
飛沫防止シールドパネルの設置，手指消毒液の設置，マスク着用をお願い，コロナ感染予防の注意喚起として各種広報の掲示を行うなど従来からの感染防止対策に加えて，共用機器やテーブルなどのアルコール拭き取り，閲覧室入口にサーモグラフィーの設置，集会室に空間除菌機（ジアイーノ）を設置するなど，さらに徹底して対策を行っている。

## (3) 貸出冊数



ゴールデンウィーク中に休館したことから，5月の貸出冊数が減少している。

夏休み期間に児童の貸出冊数がかかなり増えているのは，「とくしまアラート ステージⅢ」が発令されていたため，レジャーなどの外出を控え，家庭での時間が増えたことも一因と考えられる。



\*個人貸出冊数は、2021年3月31日時点で全国8位(うち、児童のみは4位)となっている。  
 (「図書館雑誌」2021.8より)

## 2. 子どもの読書活動支援について

### (1) 子どもの本の充実

子どもの本の資料センター的機能を図るため、多様な資料の収集に努めており、「知の拠点」事業における子どもの本充実費200万円で、翻訳の外国語絵本・童話を中心に購入し、さまざまな言語に対応するため海外の秀作絵本（英語，中国語，ベトナム語）等も購入した。新たな読書テーマの発見につながる、ブックリストやパスファインダーの作成，資料展示を実施した。

### (2) 主な事業について

#### ①おはなし会

新型コロナウイルス感染予防の対策として、「とくしまアラート ステージⅢ」発令中のおはなし会を中止した。

（中止）・ボランティアによるおはなし会 4/25, 5/5, 5/23, 8/22, 9/12, 9/26

・赤ちゃんと楽しむおはなし会 5/13, 9/9

場所を窓のない個室であるおはなしのへやから3階集会室1に変更し，参加人数も制限して，検温・手指消毒・連絡先確認のうえ実施している。また，演者はソーシャルディスタンスを取り，マスクの着用を義務付けた上で行っている。

えいごのおはなし会を3月21日（日）と11月23日（水）に開催した。英語による歌や手遊び，大型絵本の読み聞かせなど，盛りだくさんの内容で参加者も身を乗り出すように楽しんでいた。

いずれのおはなし会も好評で，特に赤ちゃん連れの家族が安全で安心できる空間を探している状況が参加者からうかがえており，できるだけ不安を取り除きいつもの暮らしが継続できるための取組を行っている。

#### ②「初めての方の読み聞かせ講座」

絵本専門士の渡邊美恵氏を迎え，6月6日（日）に絵本の選び方や発声練習，実演など読み聞かせの基本についての研修会を開催した。

#### ③「読書感想文にチャレンジ」

昨年度，新たな取り組みとして実施したところ好評であったため，7月24日（土）に小学生低学年を対象にした「読書感想文にチャレンジ」を実施した。読書を愉しみ，その体験を文章に表現することで新たな発見をするなど読書することへの興味を引き出す機会となった。（参加者：25名）

#### ④「夏休み子ども環境学」

エコみらいとくしま（環境首都とくしま創造センター）より講師を招き，8月7日（土）に子どもたちを対象とした地球温暖化についての講座を開催した。講義だけでなく，太陽光発電の工作や水から発電する実験などを実施し，環境問題を身近な問題として捉える機会となった。（参加者：13名）

#### ⑤子どもの読書研修会

絵本の読み聞かせを行っている人を中心とした研修会を3月7日（日）に株式会社あ

わわ総務部マネージャー・絵本編集者 白井宏治氏を迎え、「絵本づくりについて」と題し講演会を開催した。普段、知ることのできない制作の裏話や販売の工夫などを知ることや、発表されないラフやボツになったイラストと出版された本のイラストを比べるなど貴重な体験ができた。（参加者：15名）

### （3）各種展示

1階ギャラリーにおいては、グリム童話を中心にドイツ国旗の色（黒・赤・金）にちなんだ本を展示した「ドイツの子どもの本」（2月5日～4月25日）、世界中の人たちに愛される「ムーミン」シリーズを生んだトーベ・ヤンソンの没後20年にちなんだ「トーベ・ヤンソンの世界」（4月27日～6月6日）を実施した。2月4日からは、水木しげるの生誕100年にちなみ、「水木しげると妖怪」を開催予定である。

2階こどもの本コーナーでは、様々なテーマのミニ展示を1年を通じて切れ目なく実施し、本との出会いの機会を提供した。

### （4）連携

#### ①学校

調べ学習に必要な図書を市町村立図書館を通じて貸出したり、特別支援学校に職員が訪問し、図書館業務に関する相談とサービスの案内を行った。遠足やインターンシップの受入も積極的に行っている。

#### ②読み聞かせ団体等

学校や施設において読み聞かせ活動を行っている団体等に、紙芝居舞台やエプロンシアターなどの備品を貸出している。

## 3. 読書バリアフリーについて

当館における障がい者サービスや多文化サービスの取り組みとしては、デジタル録音図書や大活字本、洋書などの購入のほか、各種手帳の交付を受けている方などに郵送貸出を行っている。また、音声による読み上げができる電子書籍も増やしていき、今後も様々な方法で資料にアクセスできる機会を提供していく。

令和元年6月に読書バリアフリー法（「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」）が公布・施行され、県においても令和3年7月に「徳島県読書バリアフリー推進計画」が策定された。当館では、7月8日（木）の徳島県図書館職員研修会において「徳島県における読書バリアフリー推進」と題した講演や、国や他県で開催される研修に参加するなど図書館職員の研鑽を積んでいる。

## サービス向上目標（第4期）数値目標

令和3年度の数値は11月30日 現在

図書館法に基づいた図書館評価を行うため、以下の項目を数値目標として掲げ、評価を行います。

評価判定用数値		令和元年度実績	令和2年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 人と資料をつなぐ	県内公共図書館の県民一人当たり貸出冊数	5	5	目標	5冊以上				
				実績	次年度に集計				
	協力貸出冊数(含・学校図書館)	23,408	24,413	目標	2万冊以上				
				実績	18,832				
	入館者数	432,017	370,268	目標	40万人以上				
				実績	250,663				
② 知への探究	県立図書館主催講演会・講座への参加者数	218	403	目標	200人以上				
				実績	189				
	電子書籍閲覧件数	2,918	9,200	目標	6,000タイトル以上				
				実績	7263				
	レファレンス事例インターネット公開件数	66	129	目標	50件以上				
				実績	年度末に公開				
③ 地域を知る	郷土資料収集冊数	3,249	3,250	目標	3,000冊以上				
				実績	2,327				
	行政支援サービスの実績	33	48	目標	30件以上				
				実績	35				
④ 読書を愉しむ	資料紹介展示回数	79	74	目標	70回以上				
				実績	59				
	児童書の年間購入冊数	3,770	3,564	目標	3,200冊				
				実績	2,621				
	読書バリアフリー収集点数	465	409	目標	350点以上				
				実績	302				

\*図書館法 第7条の3

(運営の状況に関する評価等)

図書館は、該当図書館の運営状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。



### 1 人と資料とをつなぐ図書館

当館では昭和63年から市町村の図書館や教育委員会を巡回する協力車を運行し、県内公立図書館等への協力貸出や図書館間の相互貸借を行い、すべての県民が居住地にかかわらず同じような図書館サービスが利用できるような図っています。さらに平成30年度から「電子書籍閲覧サービス」といった非来館型サービスを開始しており、今後も他の図書館等との協力やICTサービスの充実によりすべての地域の県民に図書館資料を提供していきます。

評価判定用数値			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 人と資料をつなぐ	県内公共図書館の県民一人当たり貸出冊数	目標	5冊以上				
		実績	—				
	協力貸出冊数(含・学校図書館)	目標	2万冊以上				
		実績	18,832				
	入館者数	目標	40万人以上				
		実績	250,663				

#### 取組実績

- ・図書館職員研修を3回、実務担当者会を1回を予定どおり開催した。研修を通して図書館職員の知識・技能の向上に努めた。
- ・「とくしまネットワーク図書館システム」の利用方法を周知すると共に、活発な図書館活動の実現に向けて、相互貸借・協力貸出担当者間で図書館運営に関する意見交換をした。

### 2 探究する人をサポートする図書館

当館のレファレンスでは、司書による調査・相談はもとより、各種データベースを備え、Webでは「調べものナビ」を公開し、事典や図鑑類は電子書籍でも提供しており、今後も、県民がこれらを十分活用して、深い探究を行えるよう、レファレンスの技能とツールの充実に努め、サポートしていきます。

評価判定用数値			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
② 知への探究	県立図書館主催講演会・講座への参加者数	目標	200人以上				
		実績	189				
	電子書籍閲覧件数	目標	6,000タイトル以上				
		実績	7,263				
	レファレンス事例インターネット公開件数	目標	50件以上				
		実績	年度末に公開				

#### 取組実績

- ・「徳島県図書館職員研修会」や「初めての人のための読み聞かせ講座」等、県内各市町村図書館職員の研修や読み聞かせをする方への学びの機会等、県内の図書館活動をサポートする講演会・講座が行われた。
- ・電子書籍閲覧サービスにおいて、学校向けのトップページを開設し、生徒向けの電子書籍を紹介するなど利便性を図った。また、7月～9月まで「5分間全文試し読みプラン」を実施した。
- ・レファレンス事例は、年度末に今後活用できるレファレンス事例を選別し、当館ホームページ及び国立国会図書館レファレンス協同データベースに公開している。

### 3 徳島を知って、未来を創る人の図書館

都道府県立図書館には、その地域の郷土資料センター的役割があり、当館では歴史的資料から現在の地域社会を映す資料まで満遍なく収集・保存しています。今後も、県民がこれらを十分活用して徳島への理解を深め、歴史・文化の継承や、これからのよりよい地域社会づくりに取り組めるよう、資料を充実し、効果的に紹介して支援していきます。

評価判定用数値			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
③ 地域 を 知る	郷土資料収集冊数	目標	3,000冊以上				
		実績	2,327				
	行政支援サービスの実績	目標	30件以上				
		実績	35				

#### 取組実績

- ・郷土の文化を永続的に継承していくため、徳島に関する内容の資料や徳島県出身の著者の資料を保存用・閲覧用・貸出用として複数部収集することに努めた。
- ・行政支援として、県議会図書室の展示のために資料の紹介と提供を行った。(LGBTや脱炭素社会などをテーマとした展示4回)

### 4 読書を愉しみ心を育む人の図書館

当館は、蔵書が常に幅広く新鮮な構成となるよう、また、子どものときから読書に親しめることなどに留意して選書に努めてきました。これからも県民ひとりひとりの様々なニーズに応えられるよう多様なテーマの資料を収集するとともに、生涯を通じた「知る」「学ぶ」場として環境を整えることにより、県民の豊かな読書活動を応援します。

評価判定用数値			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 読書 を 愉 し む	資料紹介展示回数	目標	70回以上				
		実績	59				
	児童書の年間購入冊数	目標	3,200冊				
		実績	2,621				
	読書バリアフリー収集点数	目標	350点以上				
		実績	302				

#### 取組実績

- ・多種多様な内容、形態の資料の収集に努めた。常設の「しごと応援コーナー」「セカンドライフ応援コーナー」「子育て応援コーナー」と、様々なテーマを取り上げた資料展示を切れ目なく、館内各所で実施した。
- ・子どもの本充実費を活用し、絵本、童話、児童文学の本等を選定。海外(中国・ベトナム)の絵本、海外児童文学賞受賞作品など洋書も充実させ、あわせて古くなった児童書の買い換えなどを行った。通常のおはなし会他に英語のおはなし会を開催した。夏休みには小学生を対象にした「読書感想文にチャレンジ2021」において、読書感想文の書き方講座を実施した。
- ・令和3年7月に「徳島県読書バリアフリー推進計画」が策定された。大活字本や録音図書、洋書等を積極的に購入した。教育委員会主催の読書バリアフリー推進研修会にデジター図書等を貸出し、連携を図った。

図書館法（昭和25年4月30日・法律第118号）〈抄〉

（図書館協議会）

第14条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第15条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第16条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成2年3月26日・徳島県条例第11号）〈抄〉

（協議会）

第7条 教育委員会の附属機関として、次の表の上欄に掲げる協議会を置き、これらの協議会の所掌事務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。

協議会の名称	所掌事務
徳島県立図書館協議会	図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べること。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 徳島県立図書館協議会、徳島県立博物館協議会、徳島県立近代美術館協議会及び徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命するものとする。

4 徳島県立文書館協議会及び徳島県立二十一世紀館協議会の委員は、学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから、教育委員会が任命する。

5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 委員は、再任されることができる。

7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

徳島県立図書館協議会規則（平成2年3月31日・徳島県教育委員会規則第3号）

（趣旨）

第1条 この規則は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成二年徳島県条例第十一号）第七条第七項の規定に基づき、徳島県立図書館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第2条 協議会に、会長及び副会長一人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第3条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（雑則）

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。